

「問題解決(概要)」

全国大会で優勝したい

今度の日曜
楽しみたい

国立大
入りたい

他校の異性と
話したい

英単語
覚えたい

新しいiPhone
欲しい



人生は問題解決の積み重ね

上の問題とは

理想の状態

ギャップ

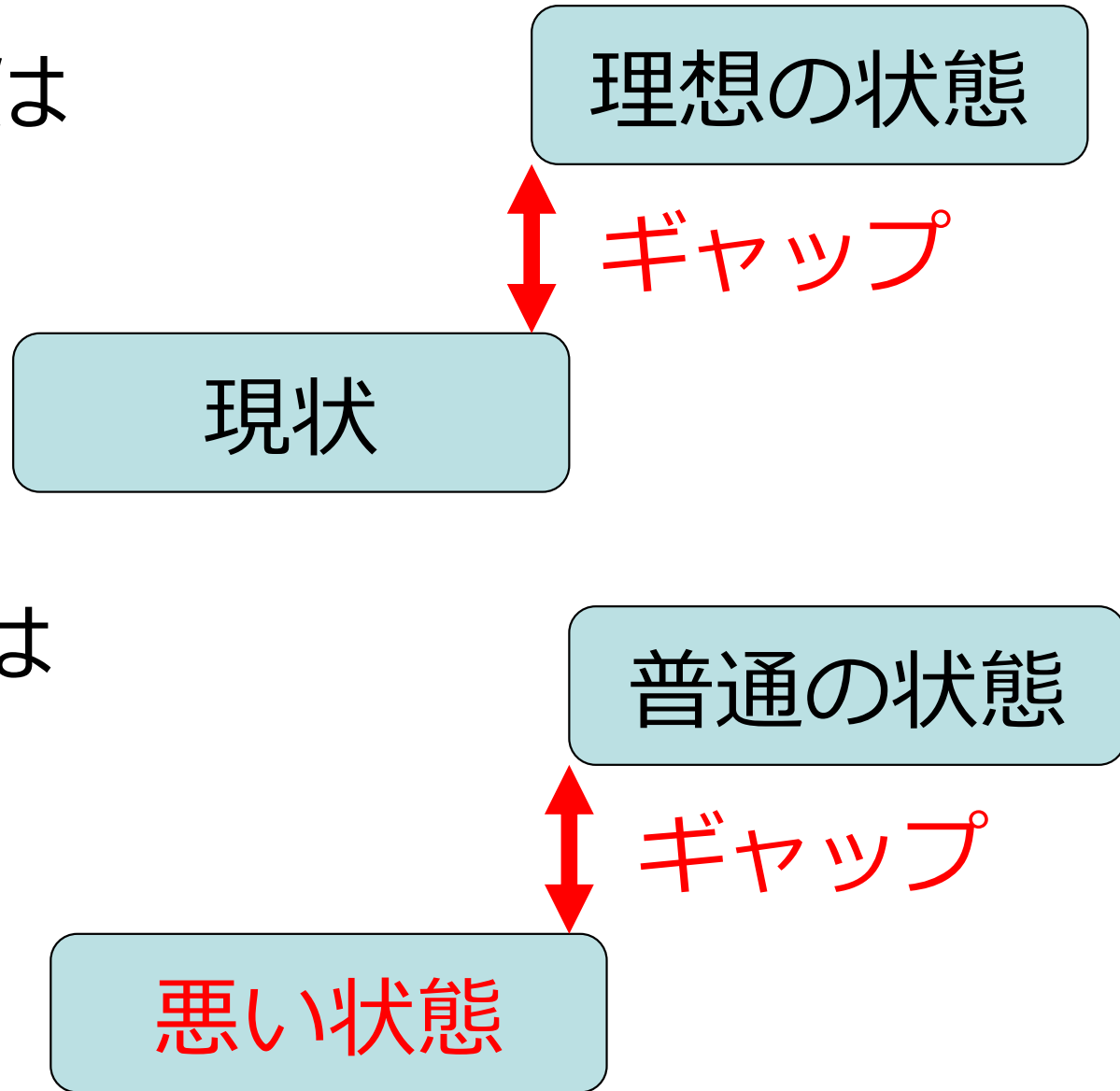
現状

下の問題とは

普通の状態

ギャップ

悪い状態



問題解決とは

上の問題場面

方法・手段

理想の状態

ギャップ

現状

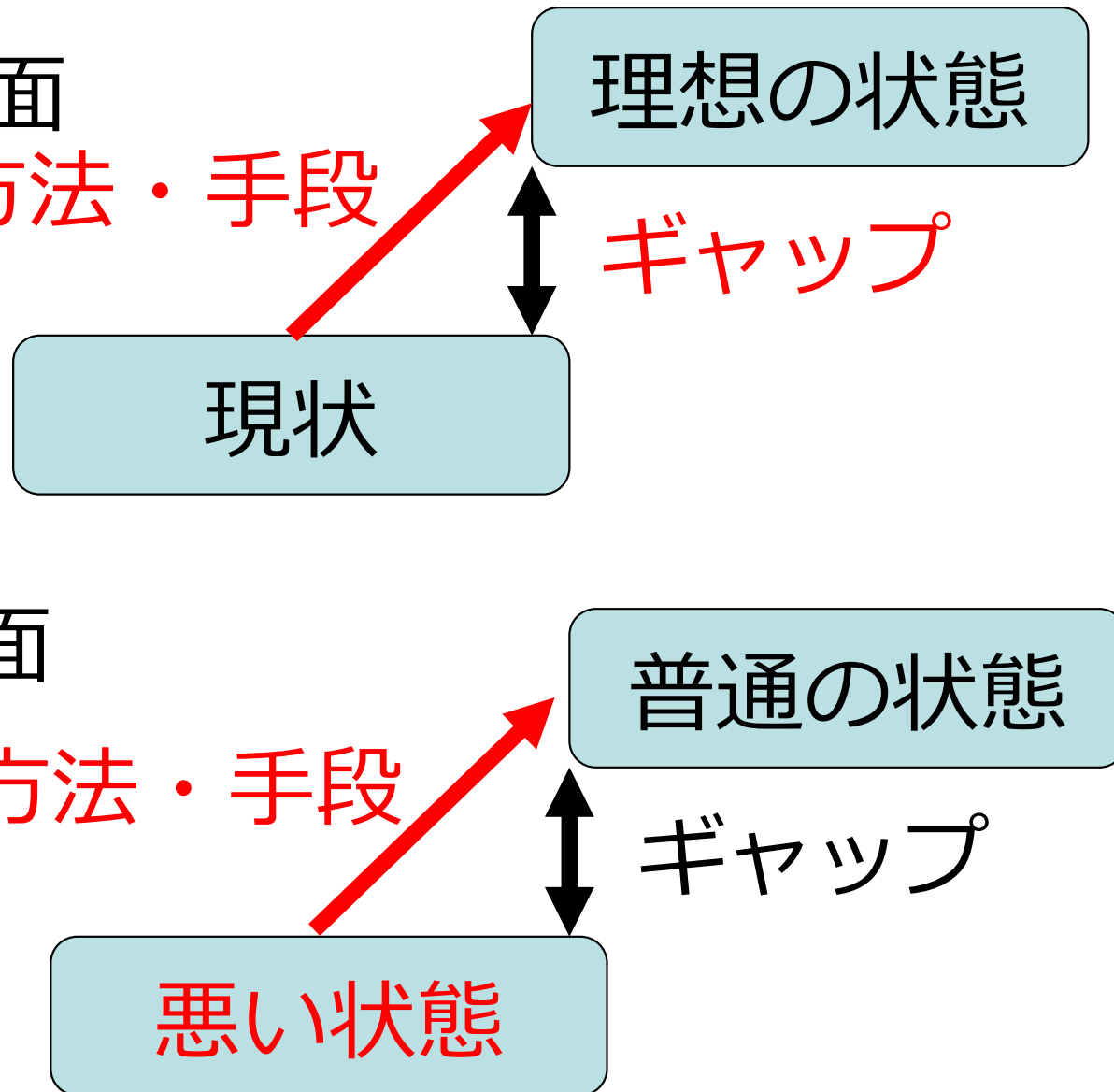
下の問題場面

方法・手段

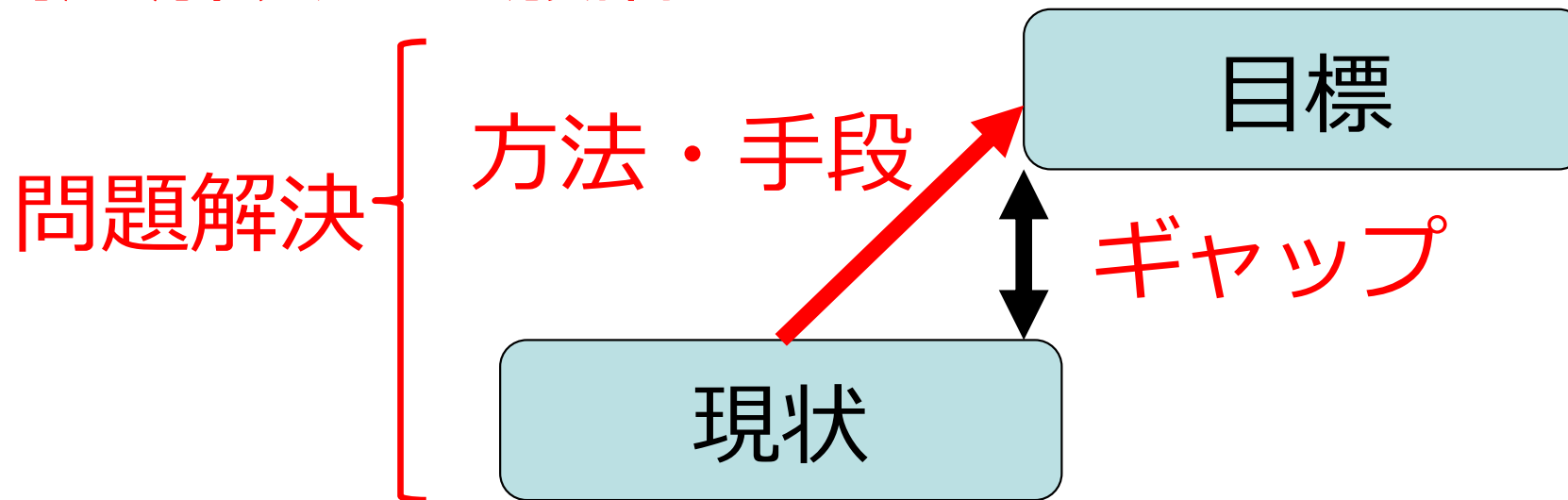
普通の状態

ギャップ

悪い状態



問題解決の一般論



現状	解決方法	目標	例
???	???	△	国立大学に合格する。
○	???	○	広島に東京から行く。
???	○	???	英単語を毎日勉強する。
???	???	???	学校の問題を改善する。

○	○	○
---	---	---

問題解決は現状、目標、→方法を
明確にすることから開始=計画

問題解決の一般論なプロセス

計画

問題の発見/問題の明確化
(現状と目的の整理と分析/定義)

情報の収集と整理・分析

解決方法の探索/立案
(計画の立案)

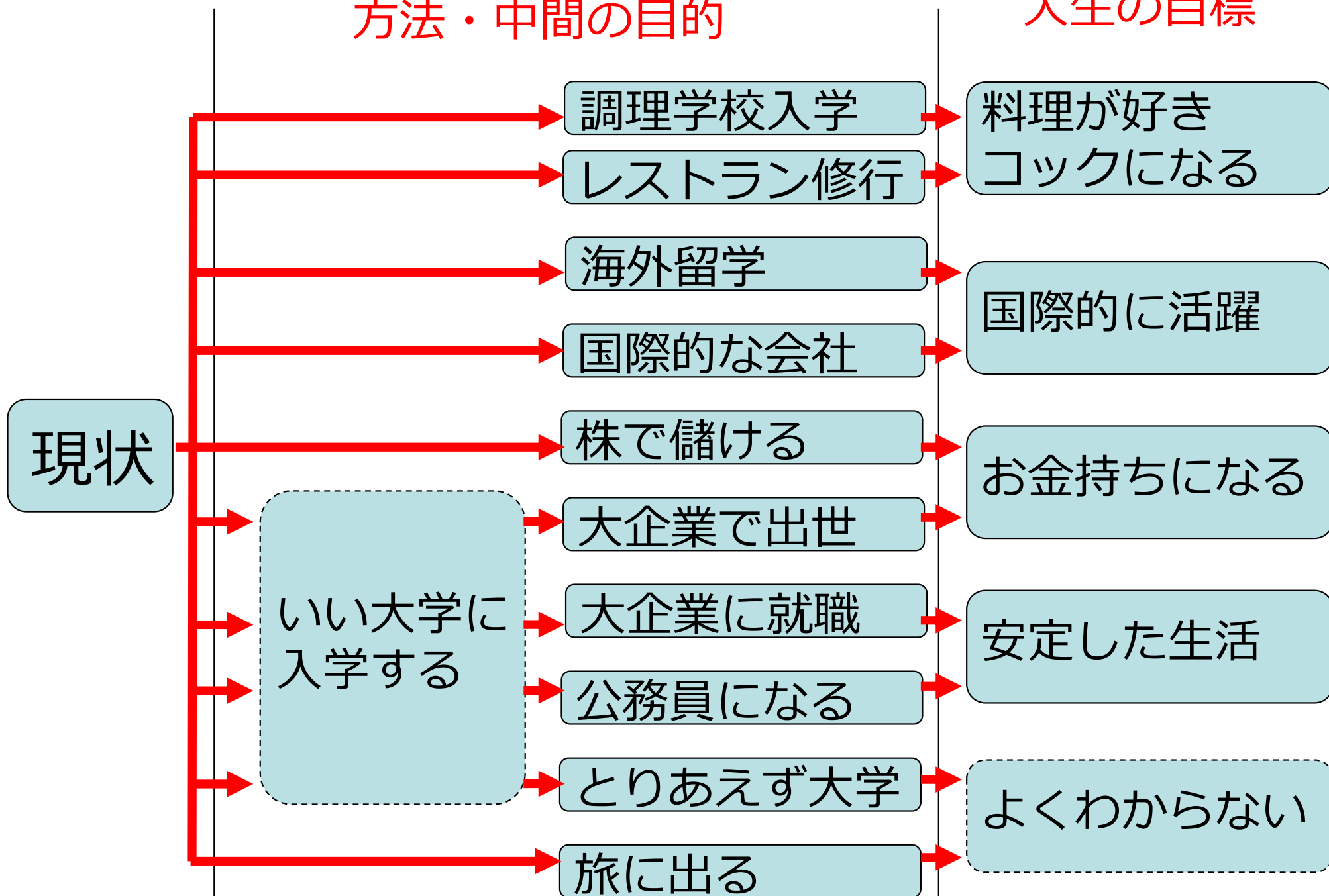
計画・解決方法の実行

評価(反省・振り返り)

目標・解決方法の明確化/細分化

方法・中間の目的

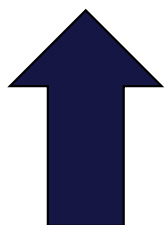
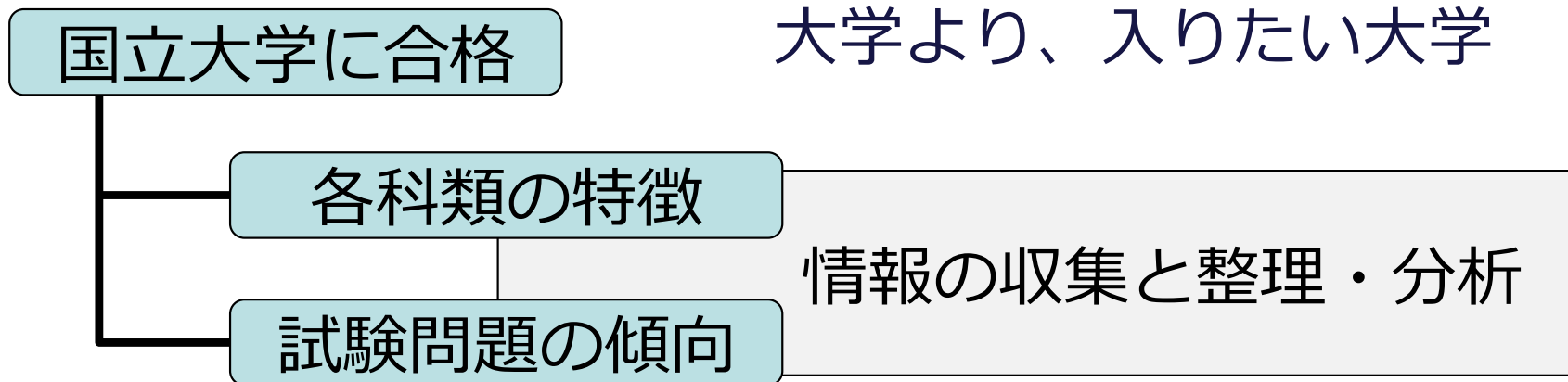
人生の目標



目標と現状の把握/分析

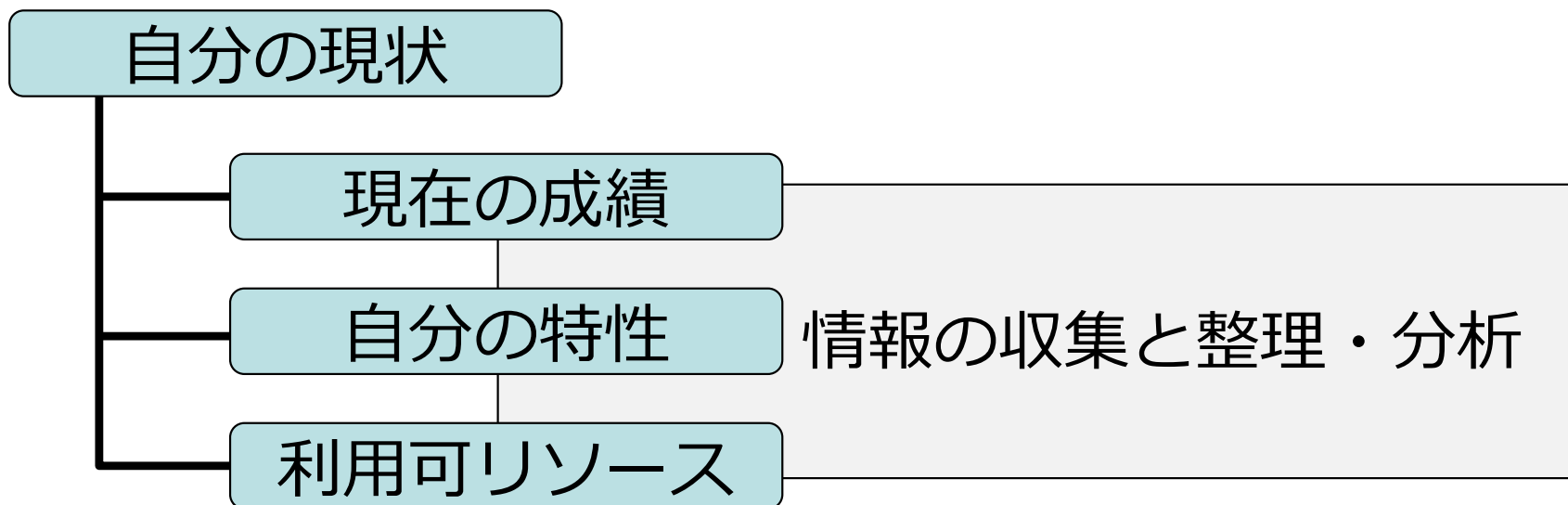
有名な進学校では入れる
大学より、入りたい大学

目標



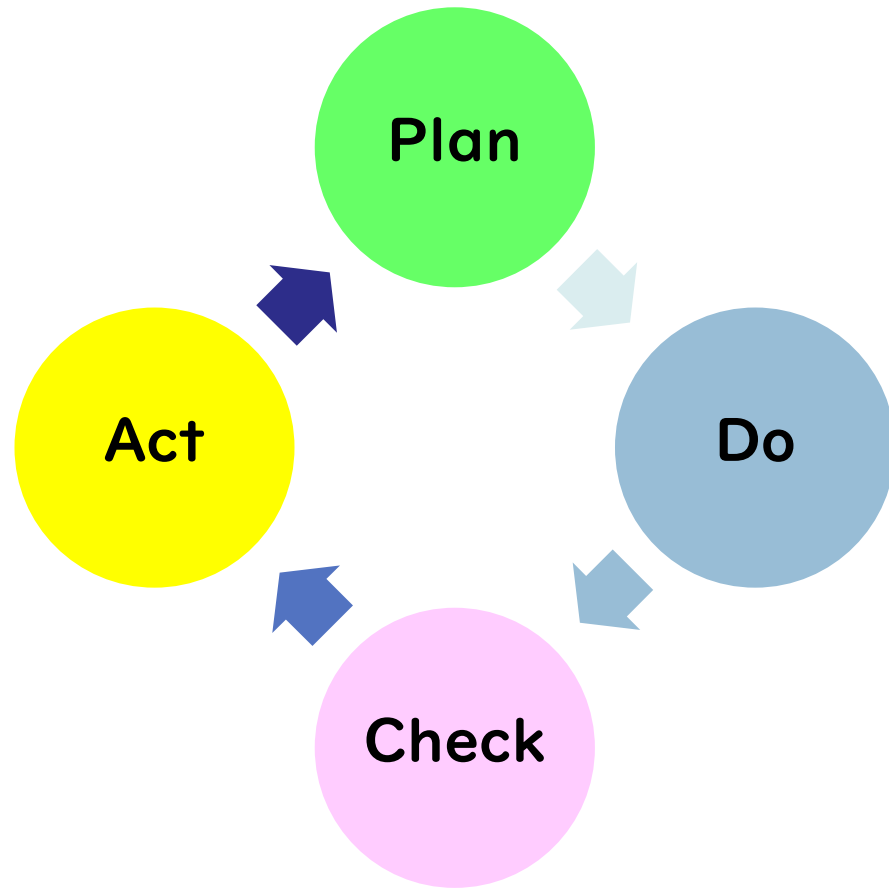
解決方法

現状



実社会でよく使用されているプロセス

PDCAサイクル



Plan	計画
Do	実行
Check	評価
Act	改善

問題解決の関連用語:

フィードバック:問題解決や目標達成に向けて前段階の作業軌道修正を促すための評価や結果の情報

トレードオフ:ある選択をすると、ひとつの課題が改善していても、ほかの課題が悪化し、両立ができないこと

代表的な問題の発見/明確化のフレームワーク(手法)

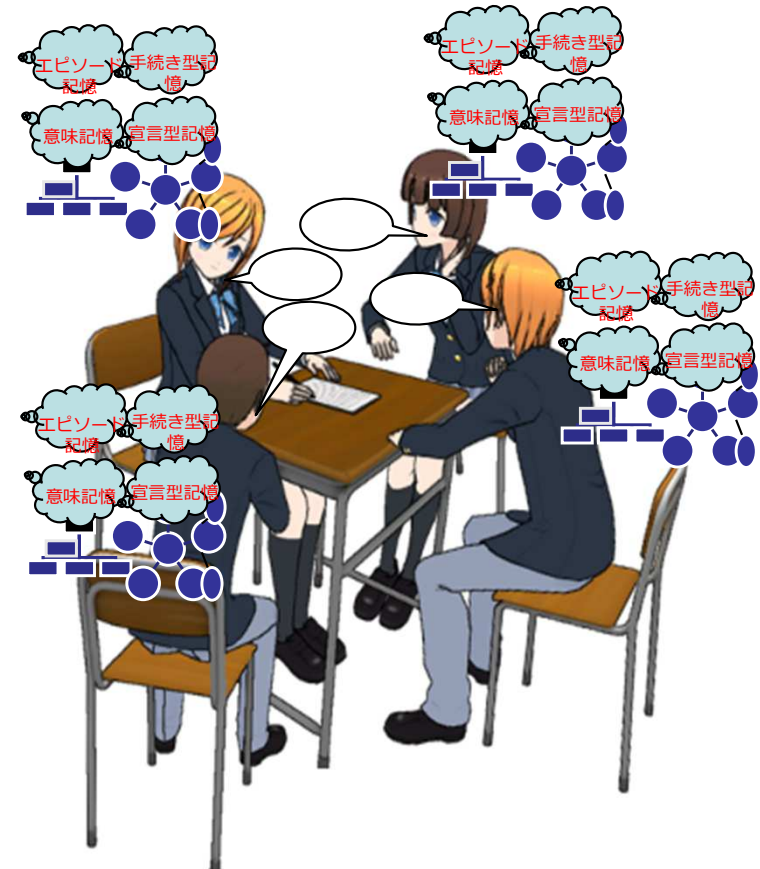
問題解決を進める上で、情報を収集・分析し、原因や解決策を効果的に考えることは欠かせない。そのために、現状や目に見えないアイデアや考えなどの情報を可視化することは非常に重要である。

ブレインストーミング:

数人で状況や改善方法を自由に話し合う

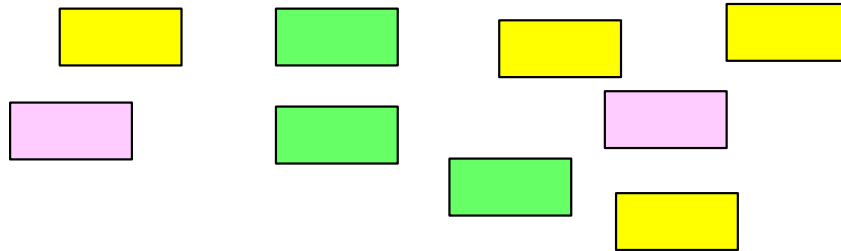
ブレインストーミングのルール

質より量	アイデアの良い悪いは問わず、とにかくたくさんアイデアを出す
制約を設けない	テーマに関係しそうなことならどんな奇抜な発想でも受け入れる
便乗の奨励	他人の意見を参考にさらに発想を広げるアイデアも歓迎する
批判の禁止	批判すると萎縮してしまい発想の範囲が狭まる恐れがあるため、アイデアを出すときは批判をしない

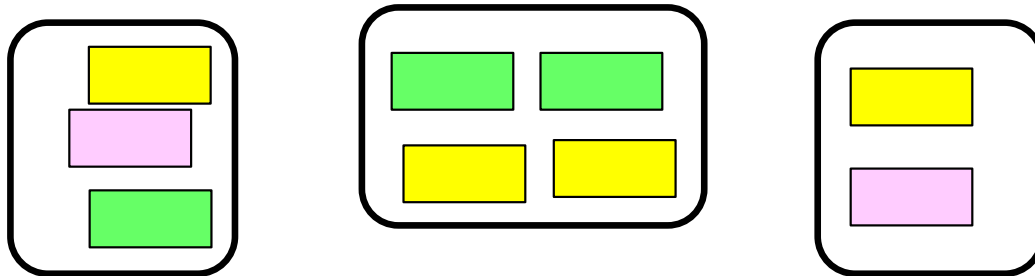


発想法2: KJ法 (川喜田 次郎)

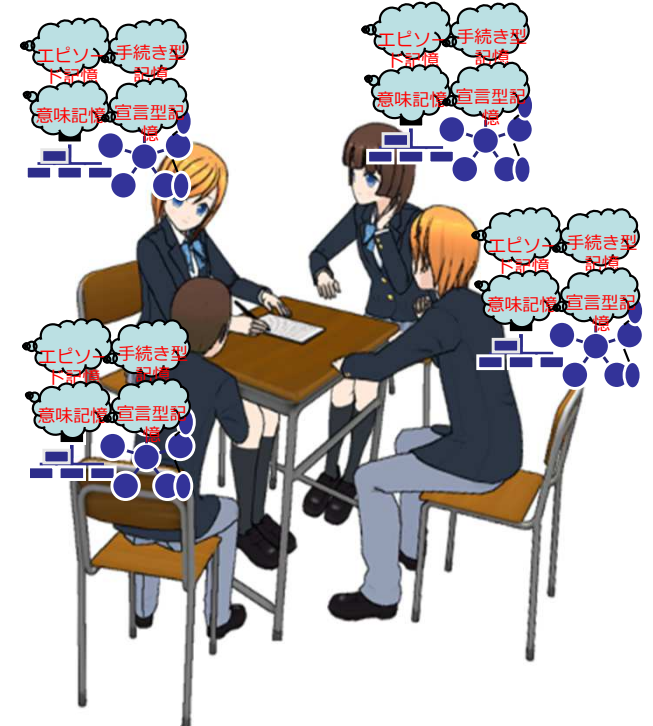
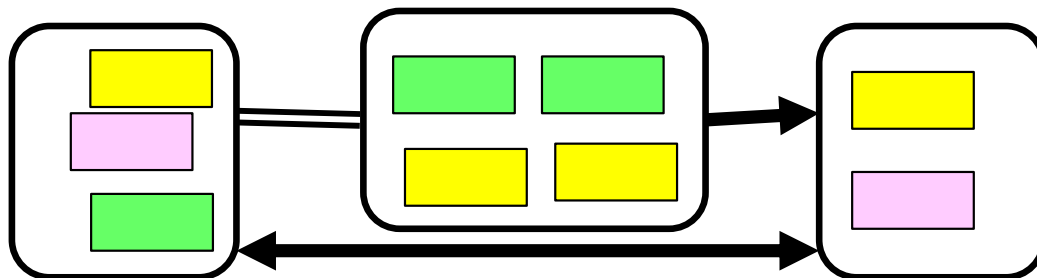
(1) 1つのアイデアを1枚のカードに要約する(2つ以上記入してはいけない)。



(2) 関連しているカードどうしをグループにまとめ、表題をつける。



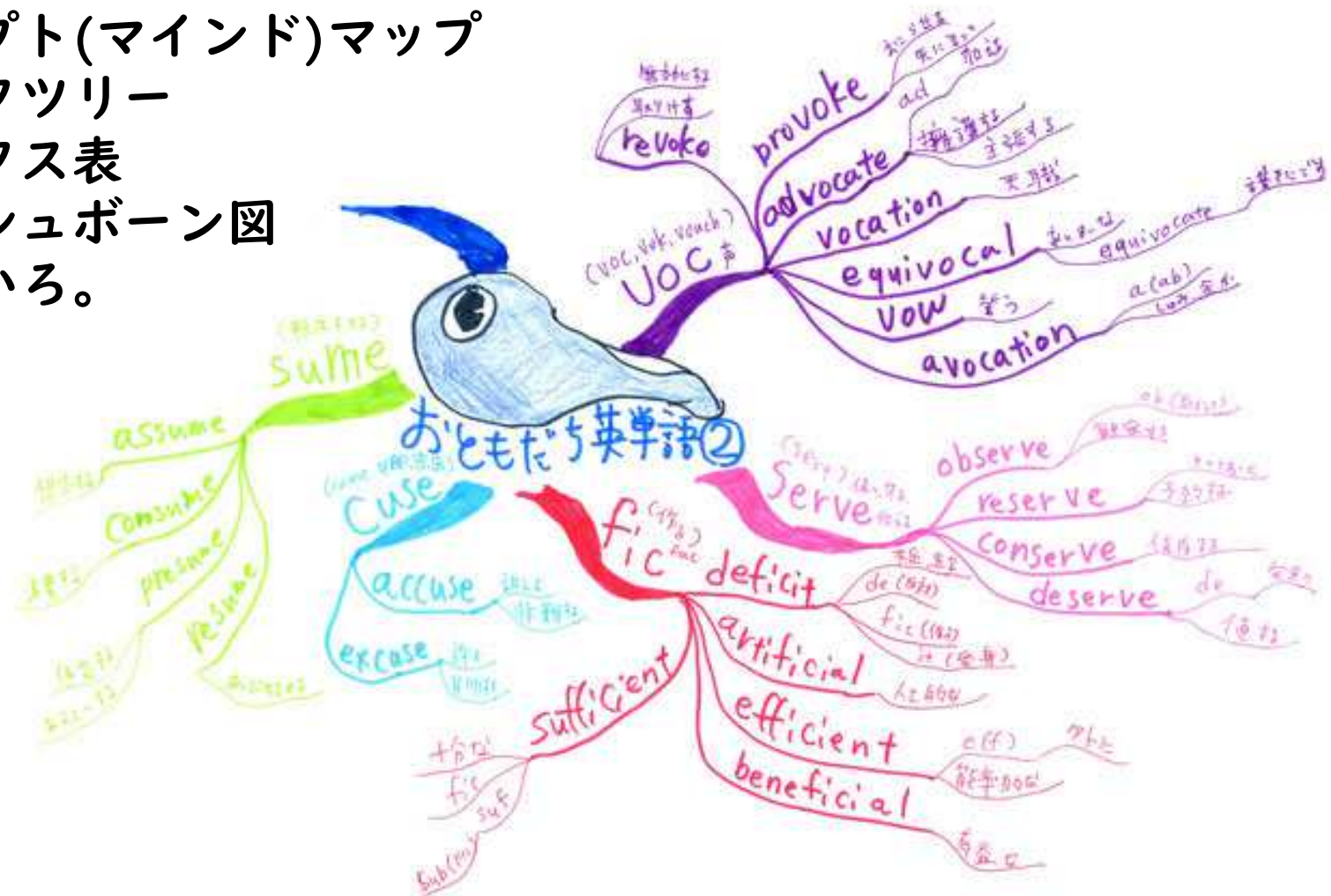
(3) グループどうしの関係(原因・結果, 反対・対立など)を矢印で表し, 関係の深さを線の太さで表したりして図示する。



(4) グループに点数をつけるなどして評価し, 結果を文章にまとめる。

その他の手法

- コンセプト(マインド)マップ
 - ロジックツリー
 - マトリクス表
 - フィッシュボーン図
- などいろいろ。



コンセプト(マインド)マップ例

画像引用 <https://www.mindmap-school.jp/blog-facebook-20200517-englishwords-mindmap/>